

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	3(2)B	<p>◎ほっかいどう未来チャレンジ基金により実施する事業について、若者を募集や選考、海外への派遣やサポートなど、産学官による三位一体の推進体制で円滑な運営に努めるほか、事業内容等の検証・見直し等を適宜実施する。</p> <p>◎グローバル人材活用に向けた環境整備やネットワーク体制の構築に向けて、産学官関係者と連携を図り、検討を行う。</p> <p>○道内大学と連携して雇用創出・企業誘致・新産業創造への支援や若者定着の取組を実施し、地域の将来を支える人材の育成や地域の活性化を推進する。</p>		

<前年度意見への対応>

前年度付加意見 (二次政策評価における付加意見の内容)	【施策間の連携状況(関連する施策間・部局間で一層の相互連携が必要)】 総合計画における「北海道の未来を拓く人材の育成」を進める観点から、知事部局と教育庁の連携により、より効果的な取組を検討すること。	付加意見への所管部局の対応 (H29年3月末時点)	知事部局と教育委員会との連携チーム会議を開催し、相互連携を深め、「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて」や「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を両機関においてより広く周知するとともに、情報交換により人材育成の機運醸成に資する今後の取組を検討する。

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取り組が必要な事項
		北海道創生 総合戦略	北海道強靱 化計画	新・北海道ビ ジョン	
3(2)B	ほっかいどう未来チャレンジ基金により実施する事業について、産学官による三位一体の推進体制での円滑な運営に努め、各関係機関をとおして募集の周知、若者からの応募に対し専門分野の有識者等による面接を実施し10名を選抜した。また、助成対象者決定後も、関係機関と連携し、海外での活動の安全と充実を図るレクチャーを保険会社や関係団体から行うなど、海外への派遣に係るサポートを行っている。	A2421 A2423		C06301 C06302 C06501	
3(2)B	グローバル人材活用に向けた環境整備やネットワーク体制の構築に向けて、ほっかいどう未来チャレンジ基金に関連して、保険会社(ジェイアイ傷害火災保険(株)、JCSOS)や大学(地域コーディネーター(2大学教授)、派遣者の在籍5大学)、関係団体(派遣者の所属3団体)との意見交換を適宜行い、海外留学に係る課題などの把握に努めている。	A2421 A2423		C06301 C06302 C06501	
3(2)B	○道内大学と連携して雇用創出・企業誘致・新産業創造への支援や若者定着の取組を実施し、地域の将来を支える人材の育成や地域の活性化を推進している。 COC+事業参加大学・高専と連携し、地域企業によるインターンシップ増強による道内定着の促進を図るほか、ものづくり目利き人材の育成(室工大)や一次産業を中心とした研究プラットフォームの構築等(北見工大、室蘭工大)	A3963		C06501	

(2) その他の取組の成果等

国等提案・ 要望状況		施策に 関する 道民ニーズ	
---------------	--	---------------------	--

平成29年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(2)B	「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて」及び「外国人材の活躍促進に向けたプログラム」に基づき、国際分野で活躍できる人材の育成・活用に向けて、知事部局と教育委員会との相互連携により個別具体的なプロジェクトを進めるために個別テーマごとに設置している連携チームにおいて、情報交換や今後の取組について検討を行う。	N0212	総合政策部国際課	現在、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」による大学生や社会人への支援を行っているが、より若い世代への支援や啓発などについても検討を進めており、実施に向け今後関係部局と情報交換を行っている。
		N1108	教育庁教育政策課	
-	インターンシップや助成金等の情報提供といった経済部との更なる連携や、関係振興局と地域経済団体等を巻き込んだCOC+実務者会議との合同会議の開催、COC+事務局からの要請に基づく道関係部署の個別連携事業の調整等、連携を推進する。	-	経済部雇用労政課、人材育成課、産業振興課	インターンシップや企業訪問の取組等について、経済部や振興局事業と調整を図り合同で実施するなど、連携を進めている。また、各地域ごとに拠点会議を設置したところであり、関係振興局も含め、地元定着率の増加に向けた取組実施に向け連携を進める。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
産学官関係者で構成し、基金事業を推進するために設置している「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議」において、若者の審査選考や事業内容等の検証・見直し等を適宜行う。	北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、 北海道大学、小樽商科大学、北海道教育大学、 札幌市など、産学官各種団体と連携	各関係機関をととして募集の周知、若者からの応募に対し専門分野の有識者等による面接を実施し10名を選抜した。 また、助成対象者決定後も、関係機関と連携し、海外での活動の安全と充実を図るレクチャーを保険会社や関係団体から行うなど、海外への派遣に係るサポートを行っている。
関係振興局と地域経済団体等を巻き込んだCOC+実務者会議との合同会議の開催、COC+事務局からの要請に基づく道関係部署の個別連携事業の調整等、大学等との更なる連携・情報共有を推進する。	北海道経済同友会、北海道経済連合会、北洋銀行など21の企業等、 室蘭工業大学、北見工業大学、北海道科学大学、千歳科学技術大学、 各工業高等専門学校、室蘭市など産学官各種団体と連携	関係振興局と地域経済団体等を含めたCOC+実務者会議との合同会議を開催、若者の地域定着率増加に向け、インターンシップ等の取組推進を協議。また、各地域ごとにも、大学・高専、自治体による拠点会議を設置し、個別の取組推進に向け協議を進めている。

平成29年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31					
	国際理解教育を行っている公立高校の割合	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31	年度	H28	H29	進捗率	・各学校において、海外からの留学生や教育旅行を積極的に受け入れる体制が整備されていること。 ・「高等学校英語力向上事業」において、英語母国語話者による講演会を実施していること。
		基準値	71.0%	目標値	100%	最終目標値	100%	目標値	82.6	100	100	
[指標の説明] 姉妹校等の生徒との交流会や外国人等による講演会など国際理解教育を行っている公立高等学校の割合	根拠計画	政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	98	-	98			
	北海道教育推進計画	3(2)B	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	118.6%	-	97.5%			

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(2)B	1					A・B指標のみ	【国際理解教育を行っている公立高校の割合(A)】 ・グローバル人材の育成に係る取組が行われており、姉妹都市交流や海外見学旅行の受入、授業におけるALTの活用など、公立高校において国際理解教育を推進している。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	
	1						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	ほっかいどう未来チャレンジ基金による若者の留学支援など、グローバル人材の育成に係る取組を、社会情勢を踏まえ着実に推進している。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか		
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか		
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	ほっかいどう未来チャレンジ基金の運用や、インターンシップの実施など、関係部と連携した取組が行われている。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	ほっかいどう未来チャレンジ基金により実施する事業について、産学官による三位一体の推進体制での円滑な運営に努め、各関係機関をととして募集の周知、若者からの応募に対し専門分野の有識者等による面接を実施し10名を選抜するなど、地域・民間と連携した取組が行われている。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			関連する計画等		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(2)B	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっかいどう未来チャレンジ基金により実施する事業について、初年度の実施を踏まえて、想定を越えた寄附や若者からの応募を受けており、道内の期待に応える取組を検討。 ・グローバル人材活用に向けた環境整備について、産業界などを中心として情報交換をし、施策に反映していく必要がある。 ・地域の経済団体等も加え、若者の定着率増加に向け、インターンシップ等による地元企業と大学生のマッチングを推進していく必要がある。 	A2421 A2423 A3963		C06301 C06302 C06501
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02	—	11
-----	-------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> ・大学等との情報交換やアンケート調査を実施し、基金制度へのニーズ、応募者の札幌圏への集中などの課題を把握し、H30年度からは北海道未来人材応援事業を拡充し、計画期間の延長やPRの強化などを実施する。 ・順次帰国する基金第1期生へ道事業や応援パートナー企業等の事業への参加など活躍の場を提供するなど、産業界や関係団体と連携してフォローアップすることで、グローバル人材活用に向けた環境整備を図っていく。 ・地域企業でのインターンシップについて、基金学生留学コース応募者に対して、経済部が取りまとめた受入企業情報を提供するなど、マッチングを推進していく。 （拡充：北海道未来人材応援事業費）	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 — 11
-----	-------------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計	次年度新規事業 (予定)
評価結果	0 事業	1 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	2 事業	0 事業
反映結果	- 事業	1 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	2 事業	

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0501	北海道未来人材応援事業費	拡充	拡充
0502	北海道未来人材応援基金運営費	現状維持	現状維持